

# ClassNK PSC Bulletin

Date:	3 August, 2015
No:	NK-PSC-02
Attachment	No / Yes: - page(s)

Title:

固定式ガス消火装置

Typical deficiency (outline of comment) by PSC:

乗組員が消火剤の量を安全に確認出来る手段がない

Port State

Country: China

Port: All ports in China

Action taken by PSC:

~~Detention~~ / Rectify before Departure / Others ( rectify within 2 weeks )

Description:

中国 PSC による検査において、乗組員が安全に CO2 消火剤の検量を出来る手段が準備されていない事を指摘される例が報告されています。

同指摘は FSS Code 5 章 2.1.1.3 (旧 SOLAS II-2/5.1.11\*<sup>1</sup>) による要件です。

消火剤の計量措置としては、MSC / Circ.1120\*<sup>2</sup> に以下の手段が挙げられています。

- (1) 計量装置による計測 (消火剤容器の上方に計測装置用のつり金具等が必要)
- (2) 液面指示計による計測

本船に備えられている CO2 消火装置取扱説明書及び消火装置予備品の中に上記のような計量措置が見当たらない場合、一度、消火装置メーカーにお問合せの上ご確認下さい。PSC 検査の際には船長から PSC に対して、計量措置について説明が出来るようご準備をお願い致します。

\* 1: 1984 年 9 月 1 日以降に建造した船舶から適用

\* 2: SOLAS II-2 の統一解釈



(2)の例 サーモテープ



サーモテープの使用例

(一般的に日本の消火装置メーカーは、予備品として完工時に支給している)

以上